

橋の役割

古代の人間は、おそらく倒れた木を使って丸木橋を作ったに違いありません。また、石橋も古くからあったという記録が残っており、証明できる最も古い石の桁橋は、紀元前1700年前にエジプトの技術者によって作られたものと言われています。

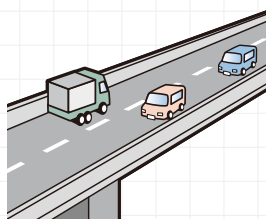
古代の日本語である「大和詞」によると、はし(橋)は「端と端を結ぶもの」であり、人や物を上下、あるいは横へ移動させるための施設として捉えられていたようです。

また語源辞典によると、「橋」という漢字は『水の上に高く掛け渡し、n形に弧を描いて曲がった木の橋』を表しているのだそうです。

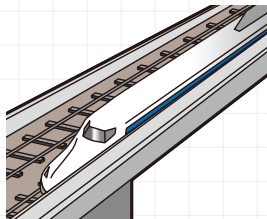
● 橋の種類

橋を計画するためには、まずその種類と、どんな分類がなされているかということを知る必要があります。橋を分類すると、用途、橋の架設地点による分類があります。

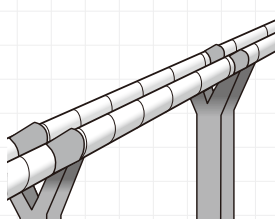
用途



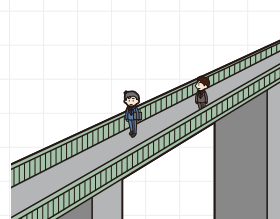
道路橋



鉄道橋

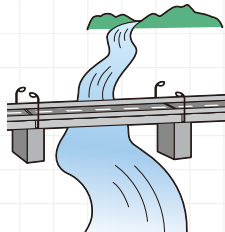


水路橋

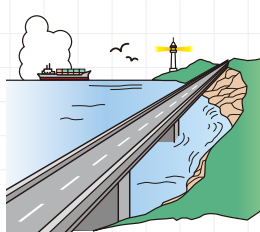


歩道橋

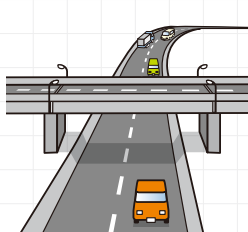
地点



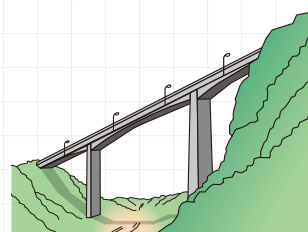
渡河橋



渡海橋



高架橋



谷越橋